

令和 7 年度 コンピテンシー(学修到達目標)に  
関する自己評価アンケート調査結果報告書  
(看護学科)

令和 8 年 3 月

浜松医科大学 IR 室（教学部門）

## 調査概要

### 1. 調査の目的

令和7年度（2025年度）看護学科4年生を対象に、コンピテンシー（学修到達目標）における自己評価アンケートを得て、教育プログラムにおける問題点や改善点を把握する。

### 2. アンケート実施方法等の概要

- 調査対象 令和7年度（2025年度）看護学科4年生 59名
- 調査方法 対象者にメールで通知し、Webフォームから回答を回収
- 調査期間 令和8（2026）年2月19日～3月5日
- 回答数 35件（回収率 59.3%）
- 有効回答数 35件（有効回答率 59.3%）

## ディプロマ・ポリシーごとの集計結果

### 1. 専門知識と技能

到達度では「2.多面的なアセスメントと対象者の経験や意向に沿ったニーズの把握ができる」と「4. 対象者のニーズや臨床判断に基づく看護問題の抽出と看護計画の立案」が昨年度（令和6年度）と比較して低下しているが、それ以外の5項目は上昇がみられた。満足度においては、「1.看護の対象となる人の特性に応じて信頼関係を形成できる」が僅かに低下したものの、他6項目は前年度より改善が見られた。（P.3 図1-1、P.4 図1-2）。

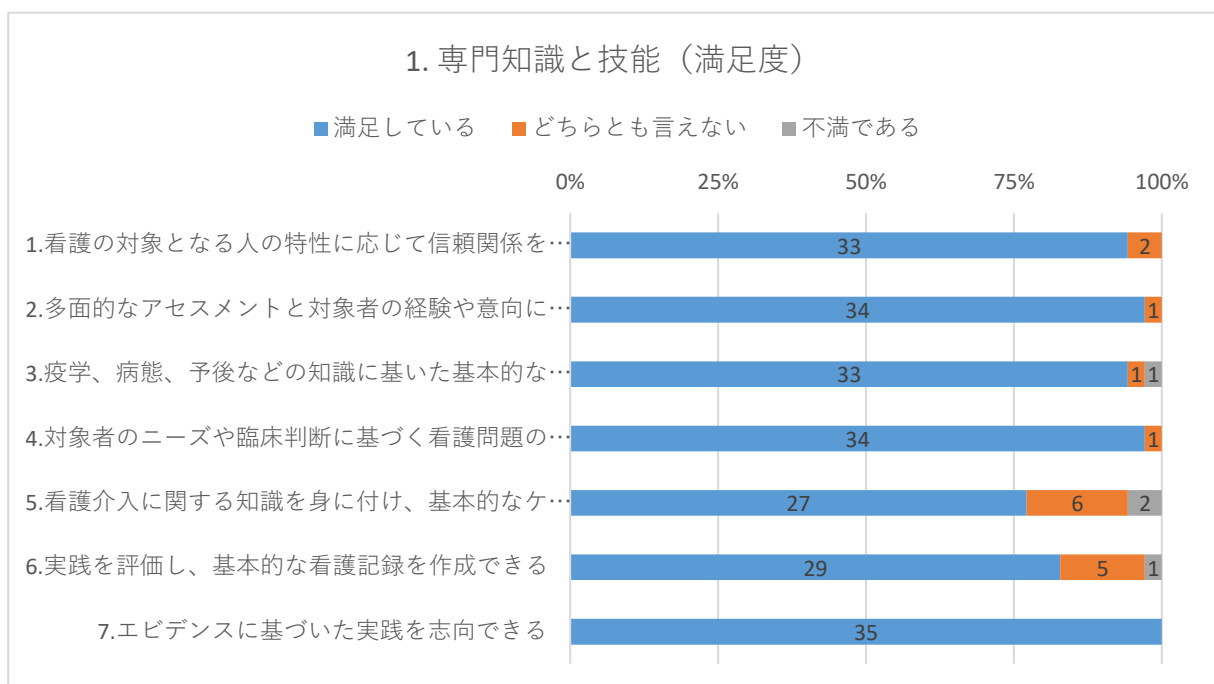
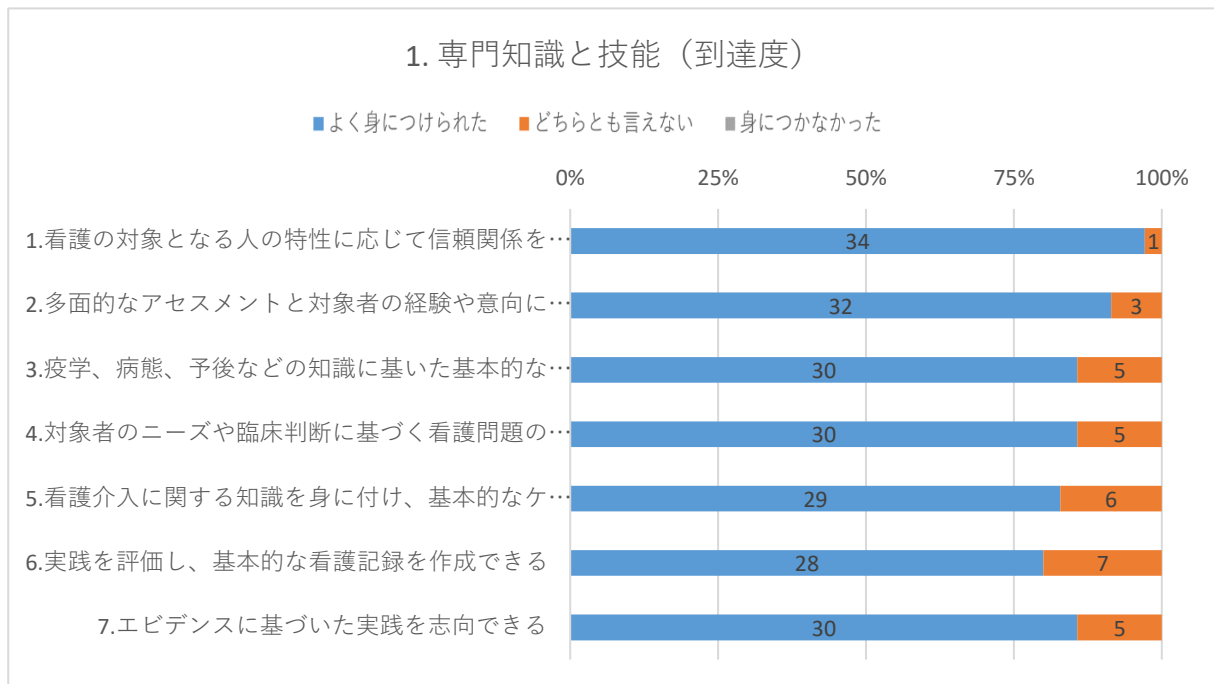


図1-1 専門知識と技能（到達度）の3か年比較

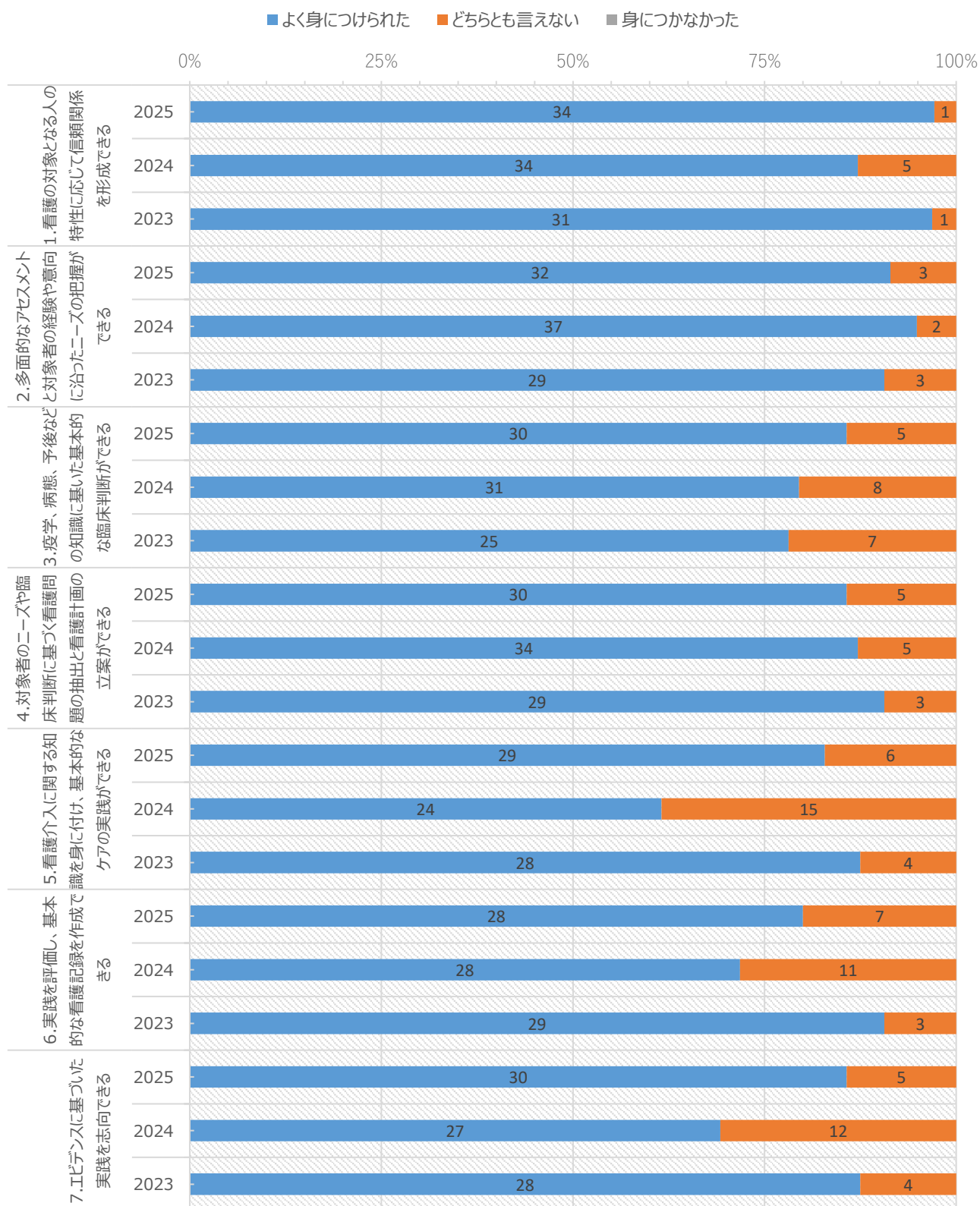
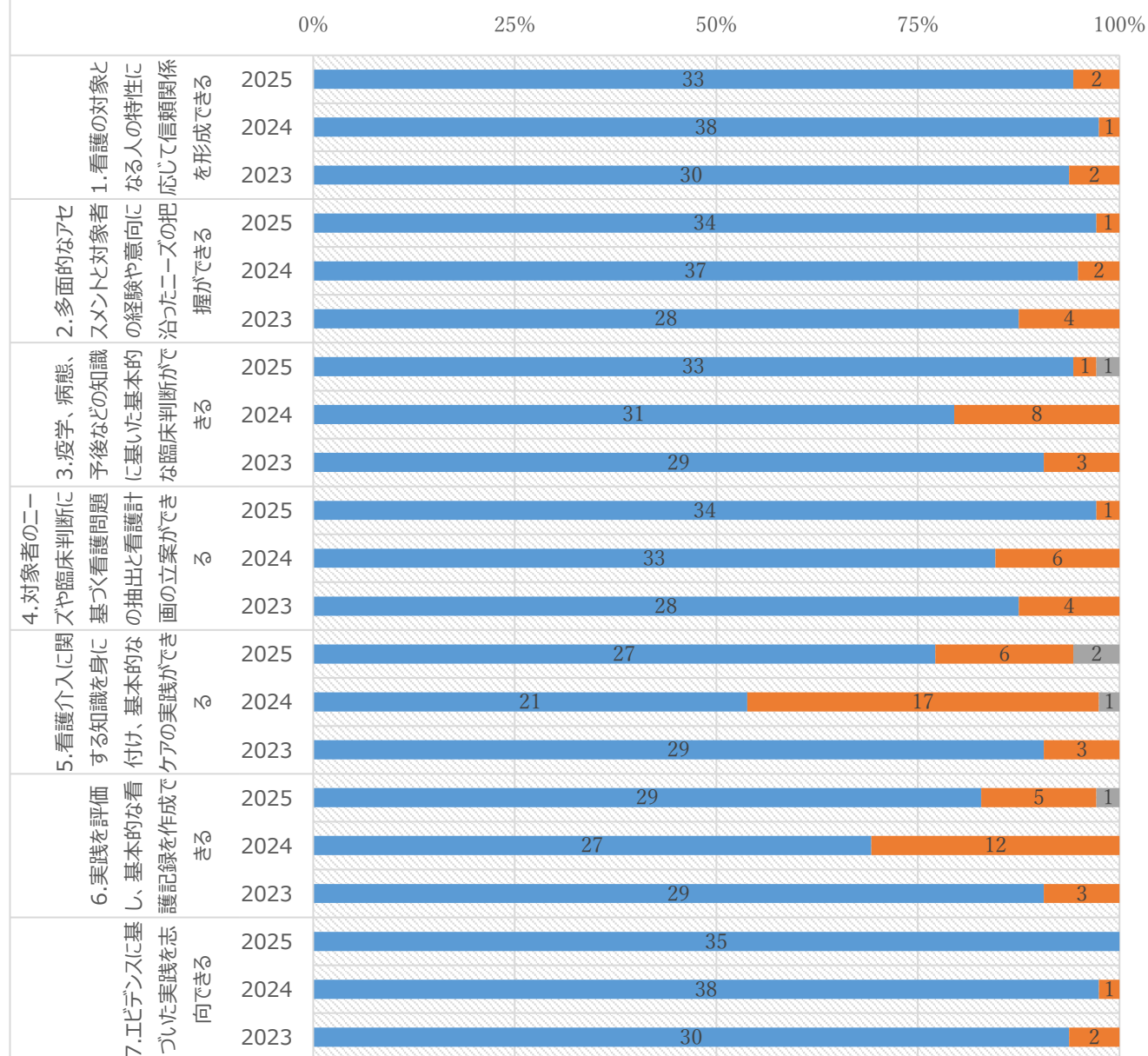


図1-2 専門知識と技能（満足度）の3か年比較

■満足している ■どちらとも言えない ■不満である



## 2. 自律的学修能力と応用能力

到達度では、全5項目が、昨年度（令和6年度）と比較して向上した（P.6 図 2-1）。一方、満足度においては、「2. 必要な課題を自ら抽出できる」「3. 課題を解決するに当たり、情報の収集法を身につけている」で、1名ずつ「どちらとも言えない」と回答した学生がおり、やや低下がみられたが、その他の3項目においては同水準又は向上がみられた（P.7 図 2-2）。

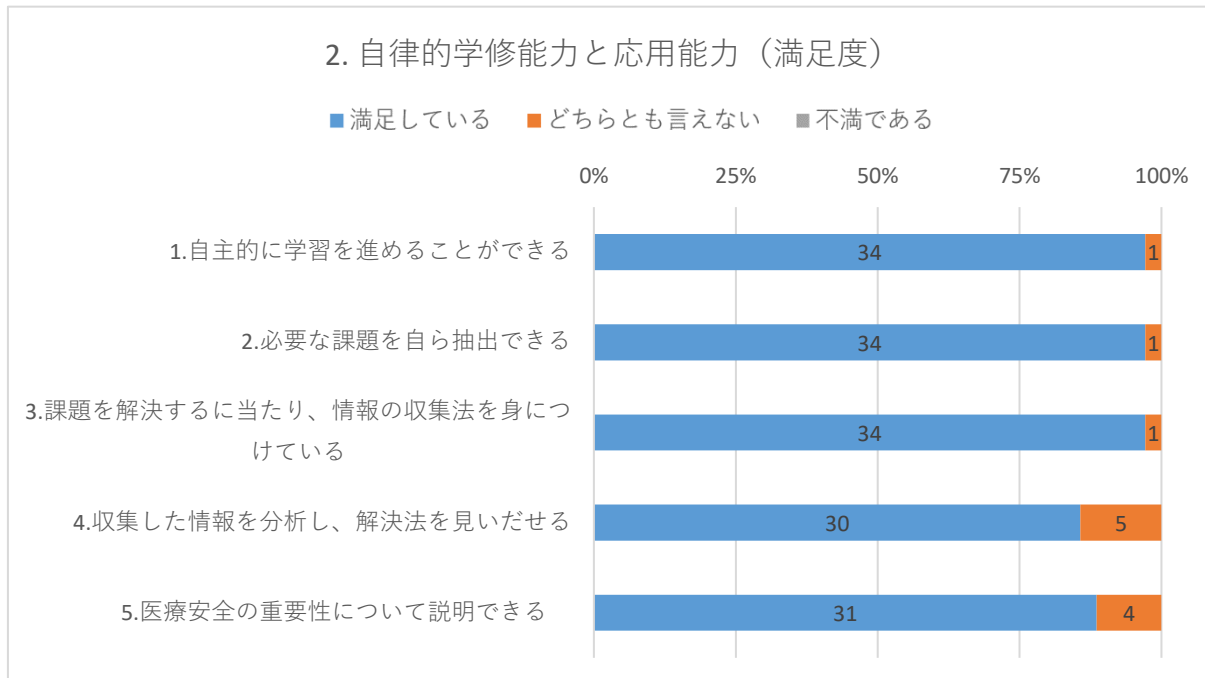
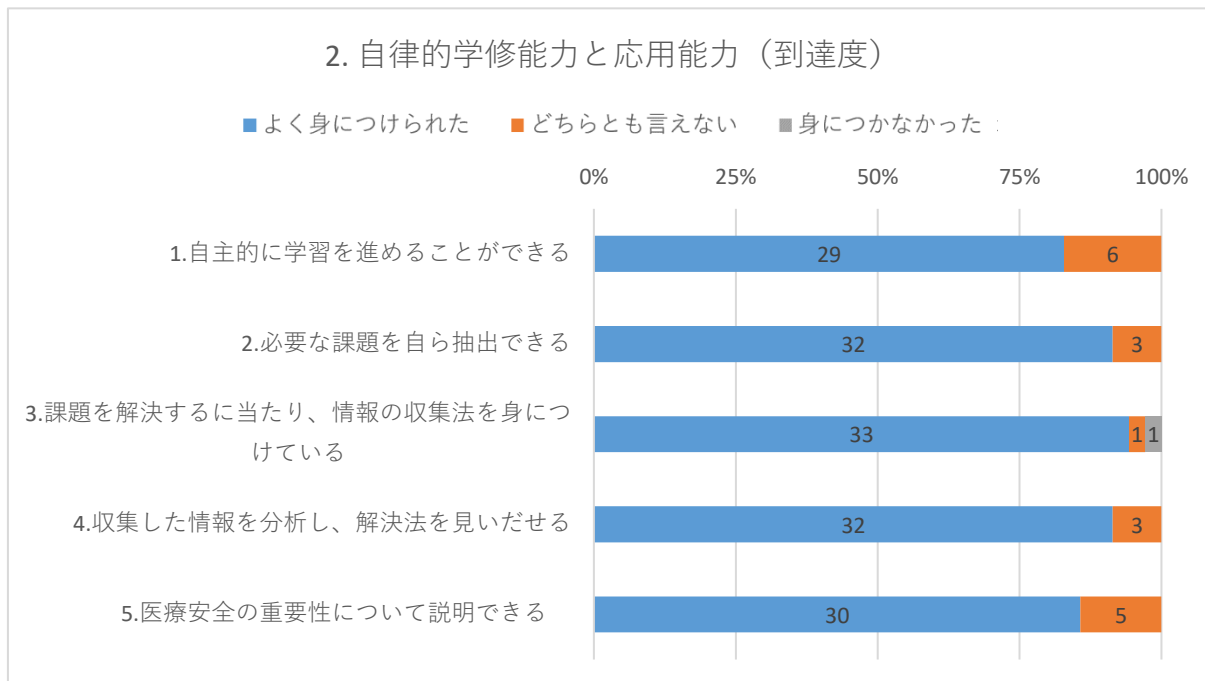


図2-1 自律的学修能力と応用能力（到達度）の3か年比較

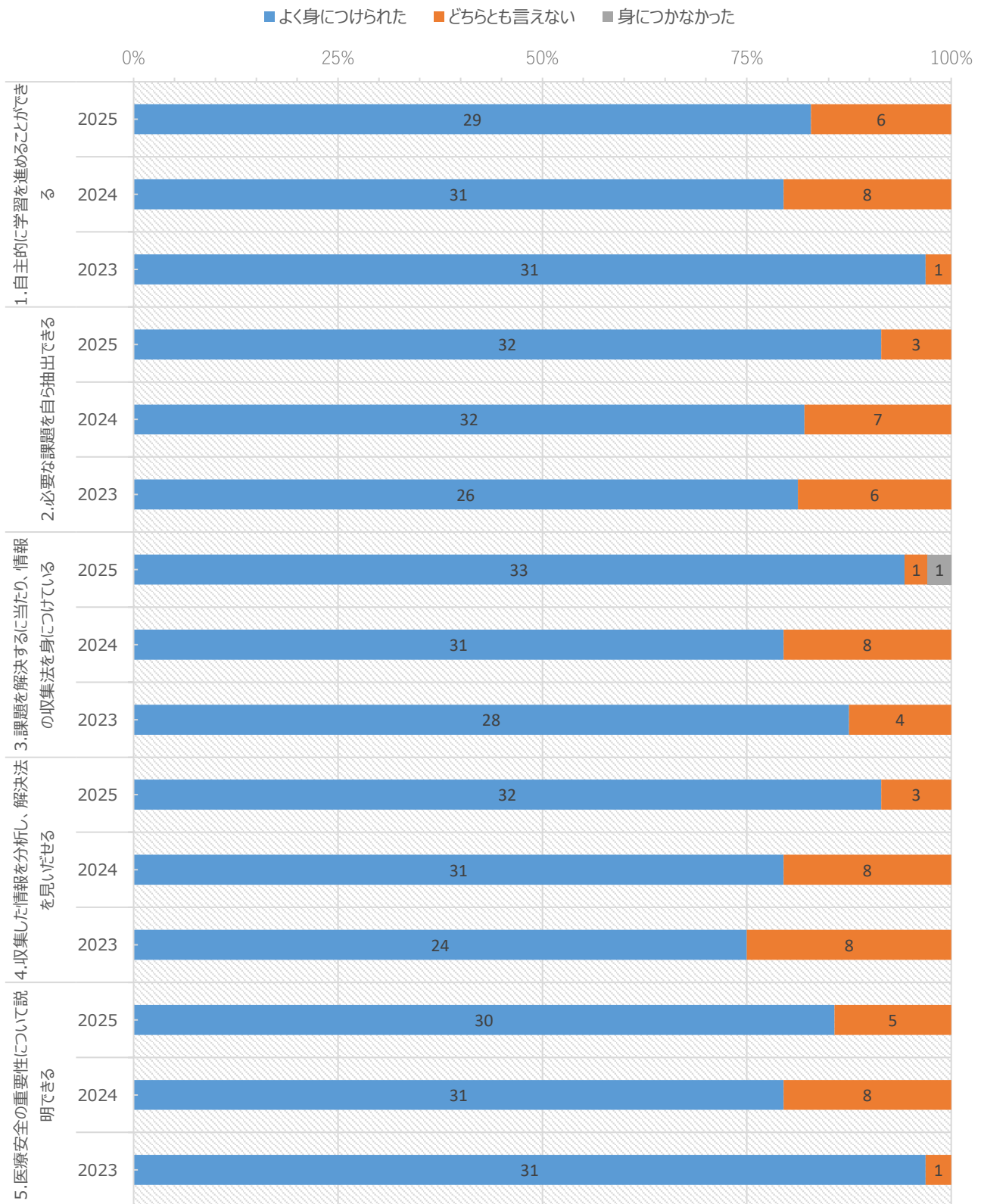
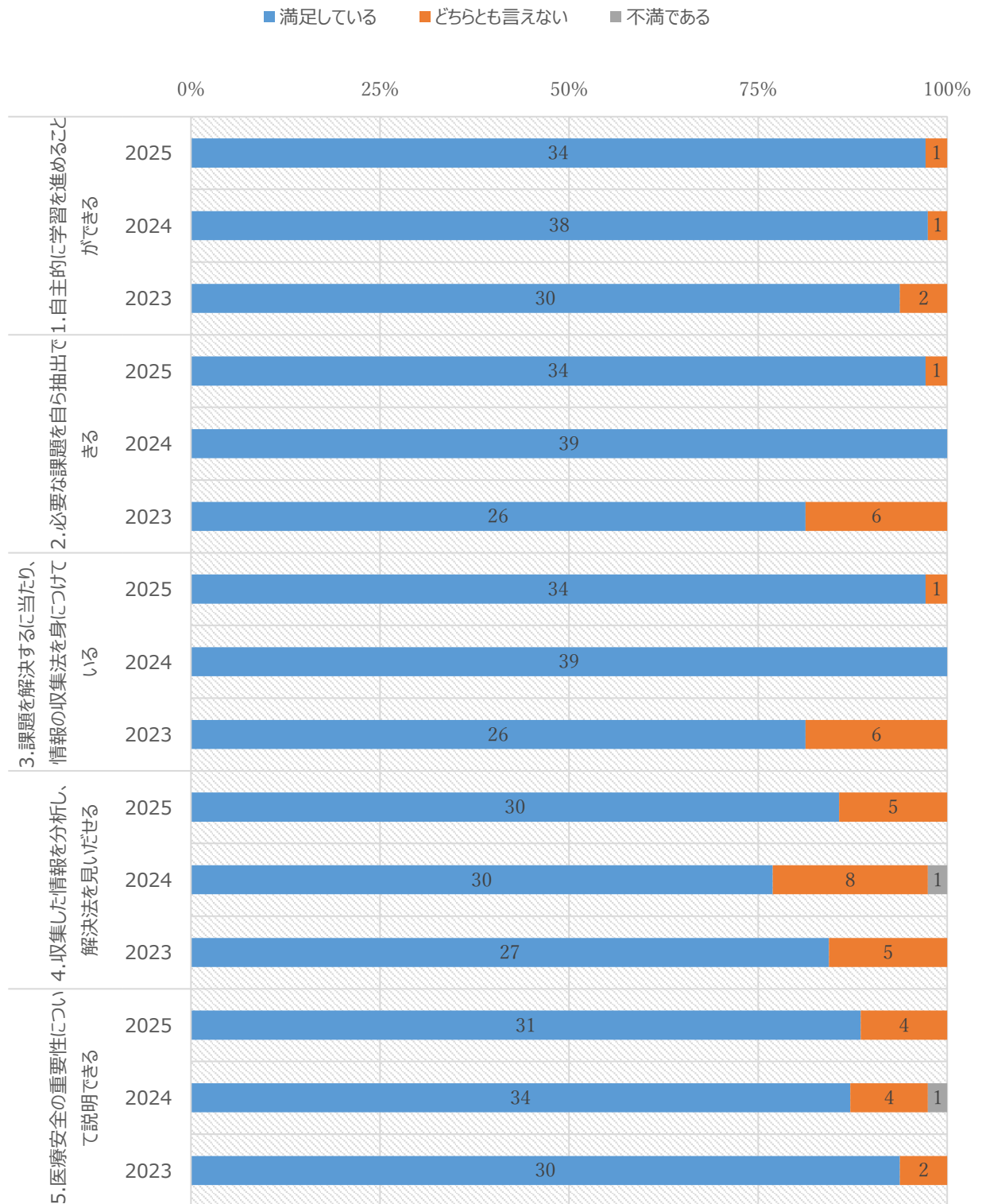


図2-2 自律的学修能力と応用能力（満足度）の3か年比較



### 3. 豊かな人間性と高い倫理観

満足度においては「2. 高い倫理観に基づいた行動ができる」に関し、僅かに到達度の低下がみられたものの、他8項目においては、前年度（令和6年度）を全て上回る結果となった（P.9 図3-1）。また、満足度においても全項目で昨年度を上回っており（P.10 図3-2）、特に「1. 豊かな人間性に基づいた行動ができる」では、「満足している」と回答した割合が25%以上増える結果となった。

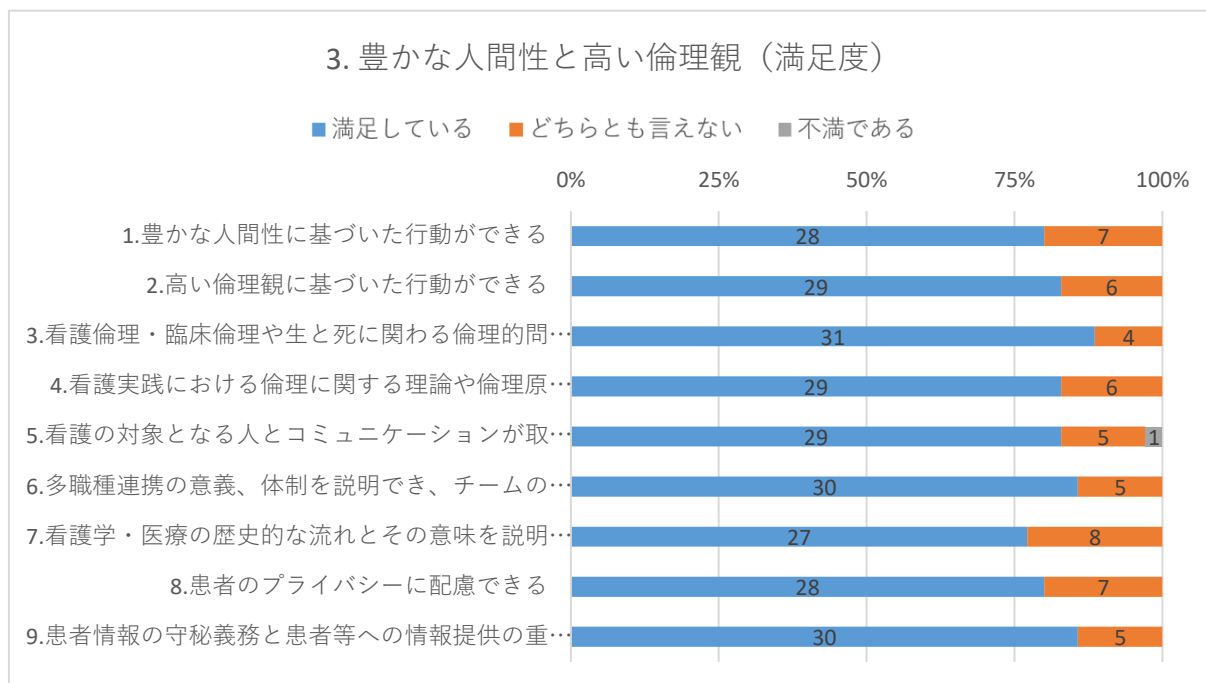
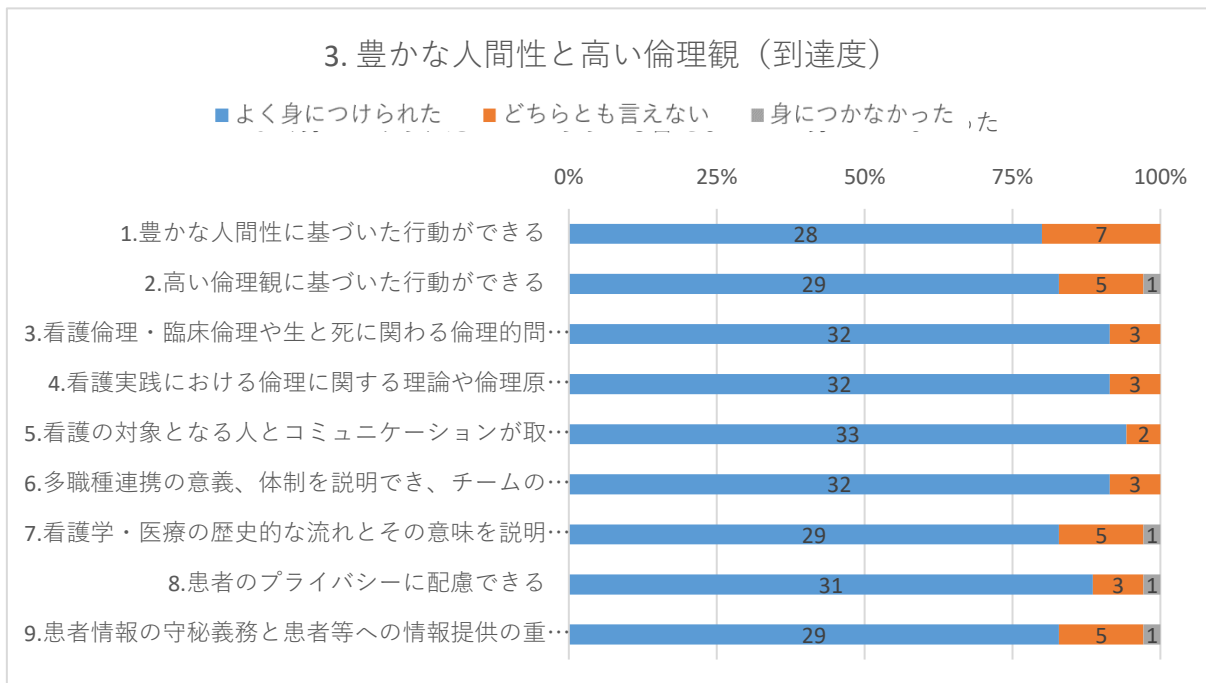


図3-1 豊かな人間性と高い倫理観（到達度）の3か年比較

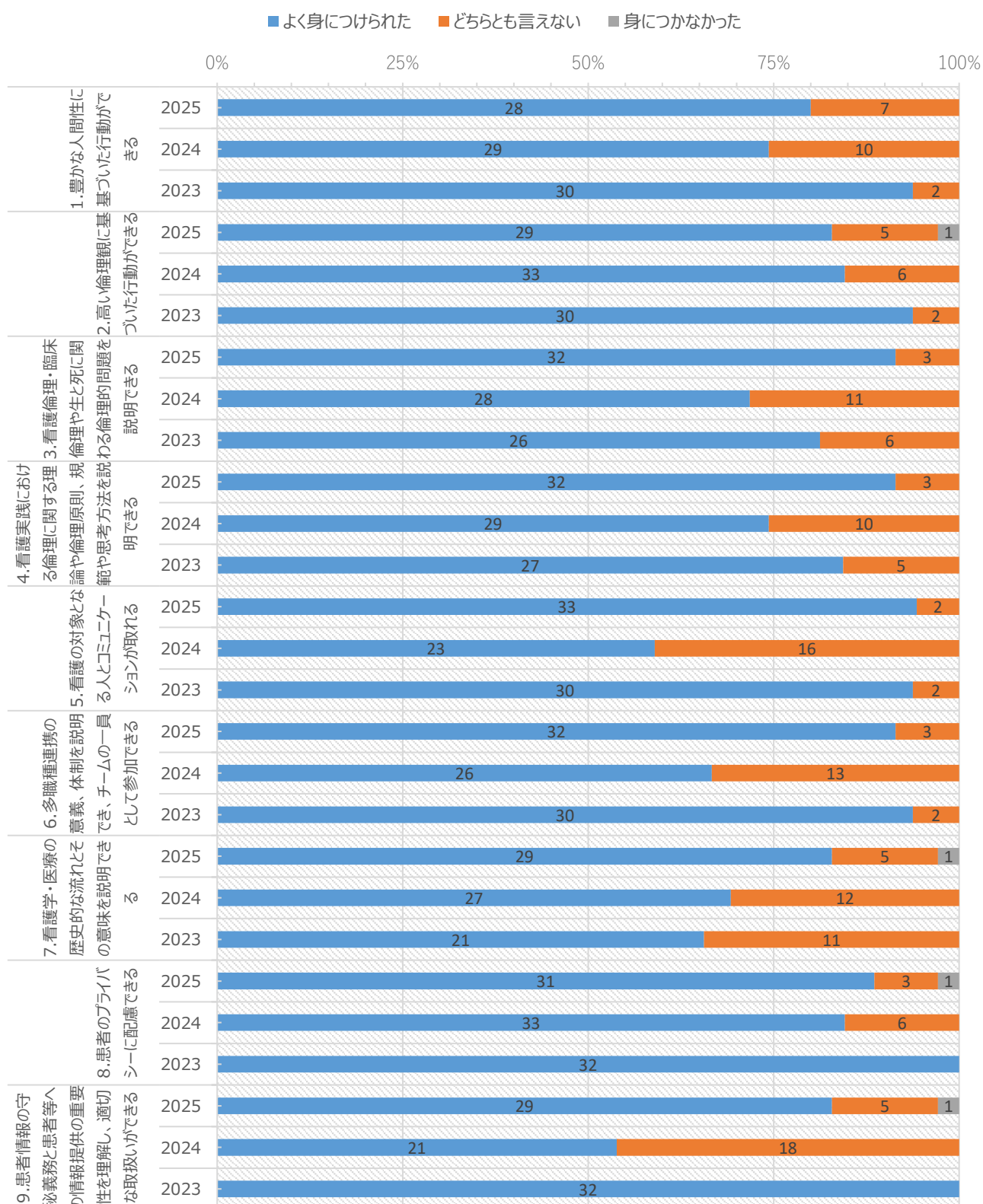
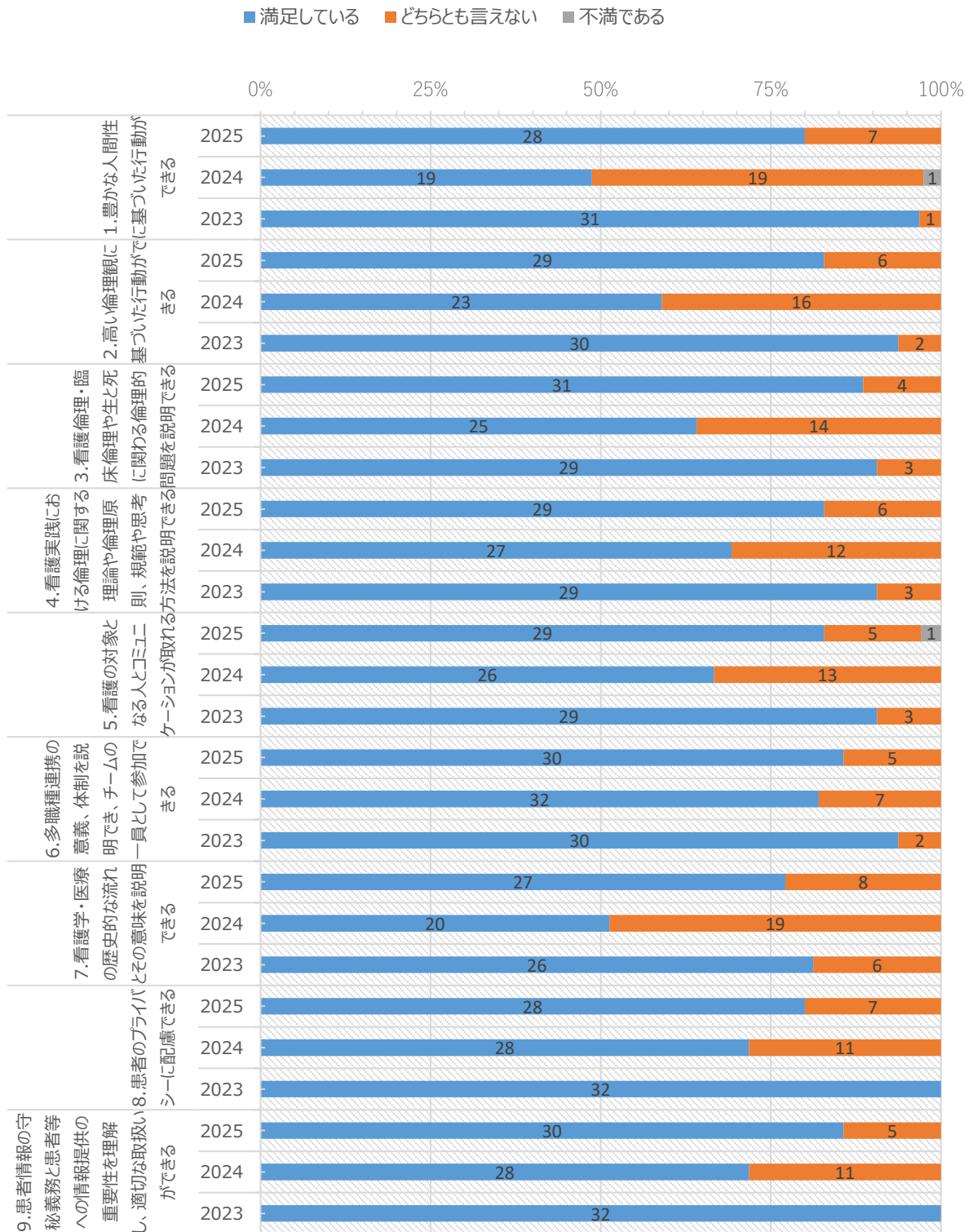


図3-2 豊かな人間性と高い倫理観（満足度）の3か年比較



#### 4. 科学的探究心

到達度では、「2. 研究課題を自ら設定できる」「3. 調べた情報を用いて解決策を論理的に見いだせる」に関しては、到達度が昨年（令和6）度と比較し低下した。その他4項目においては、到達度の向上が見られた（P.12 図4-1）。一方、満足度では、全6項目で、昨年度と比較して向上した（P.13 図4-2）。

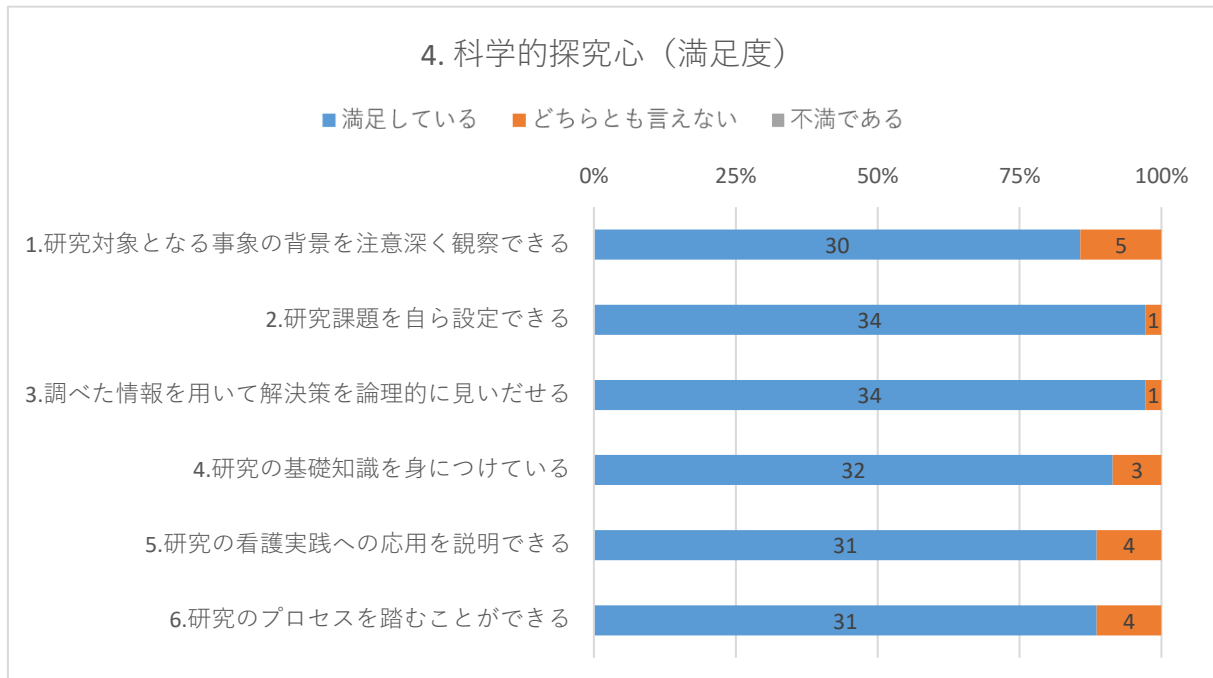
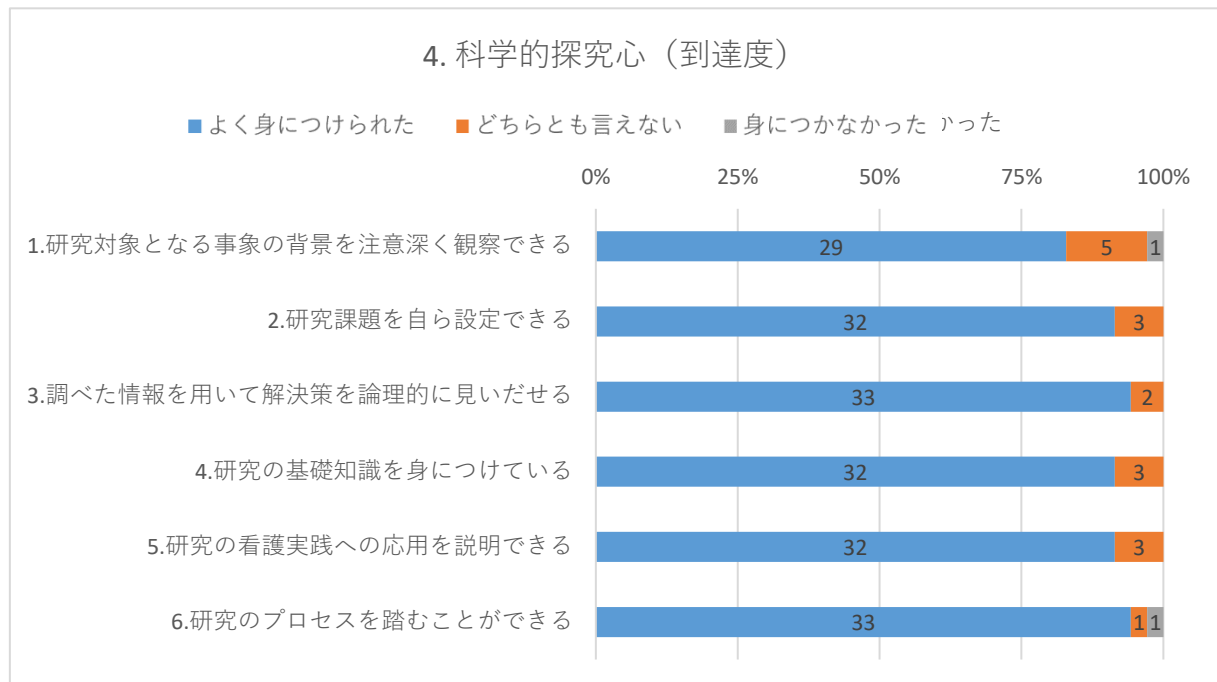


図4-1 科学的探究心（到達度）の3か年比較

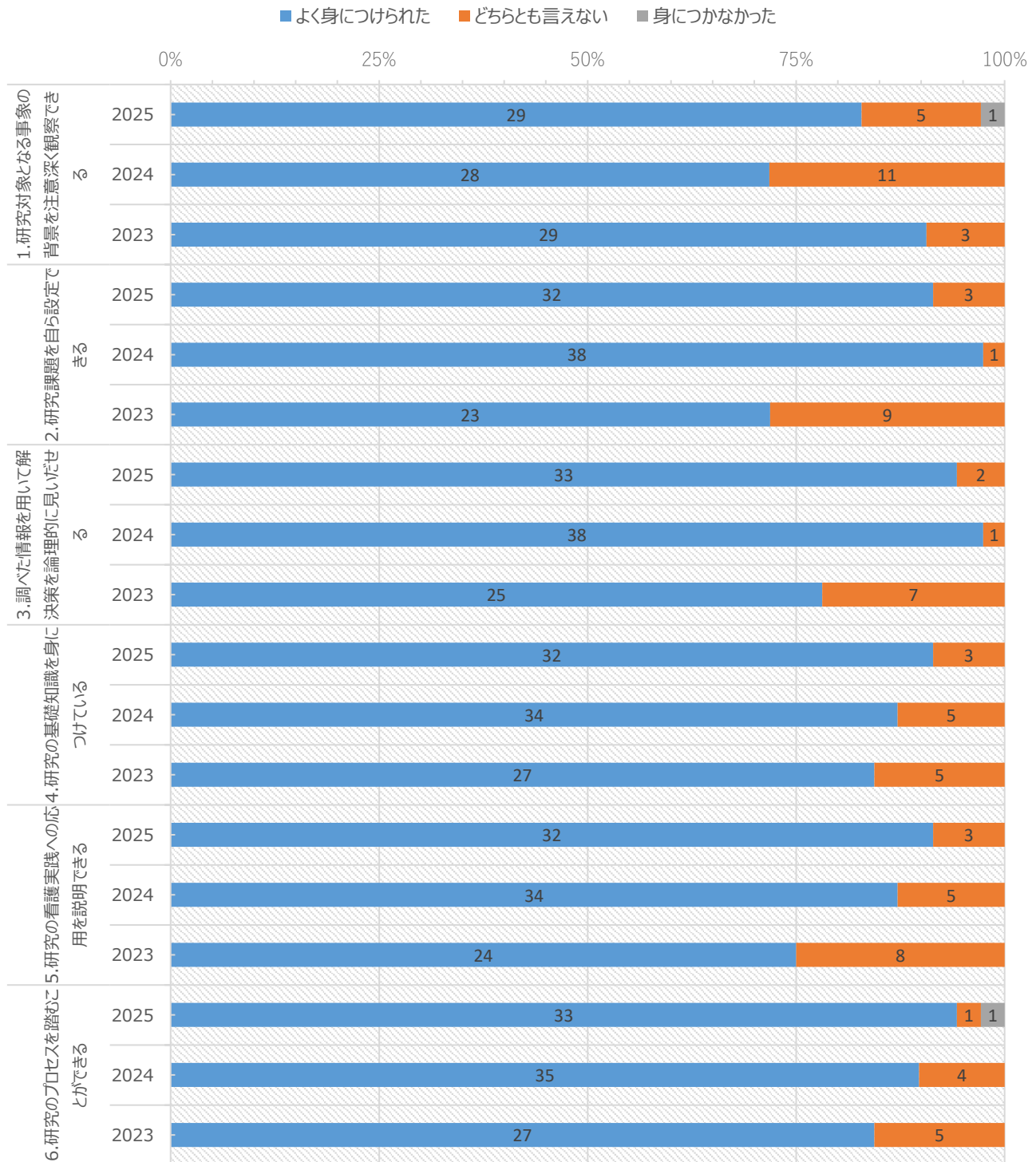
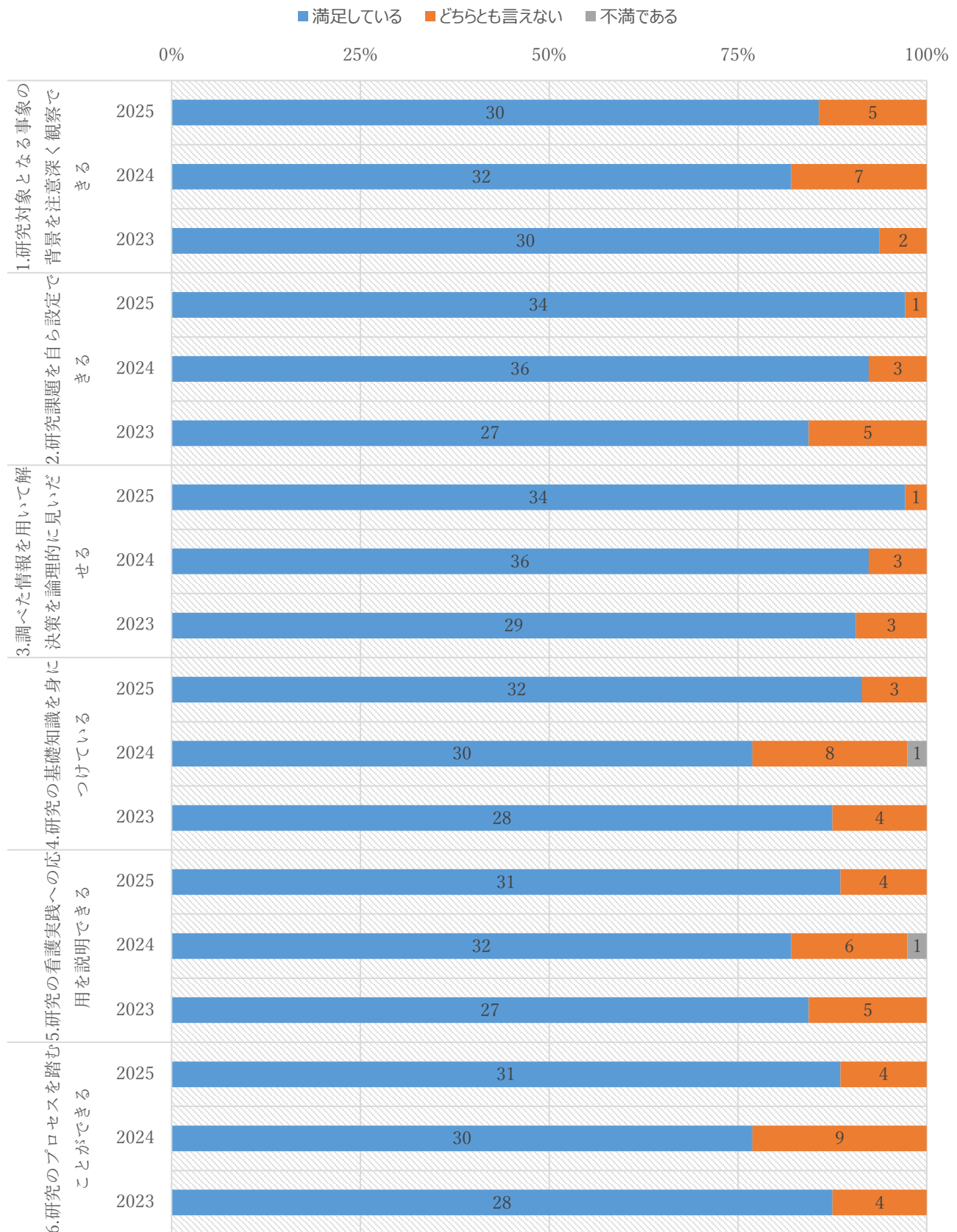


図4-2 科学的探究心（満足度）の3か年比較



## 5. 社会貢献力

到達度においては「1. 地域包括ケアにおける看護職の役割、必要性を説明できる」は昨年（令和6年度）とほぼ同率になっており、それ以外の4項目においては、昨年度よりも向上が見られた（P15 図5-1）。

一方で、満足度においては、「2. 地域包括ケアの場で基本的な実践ができる」を除いて、昨年度と同水準又は低下が見られた。「3. 多文化社会における医療者の役割について説明できる」においては、「どちらとも言えない」と回答した割合が減少し、「満足している」の割合が増加する傾向がみられたものの、全体としては前回と同程度の水準に留まる結果となった（P16 図5-2）。

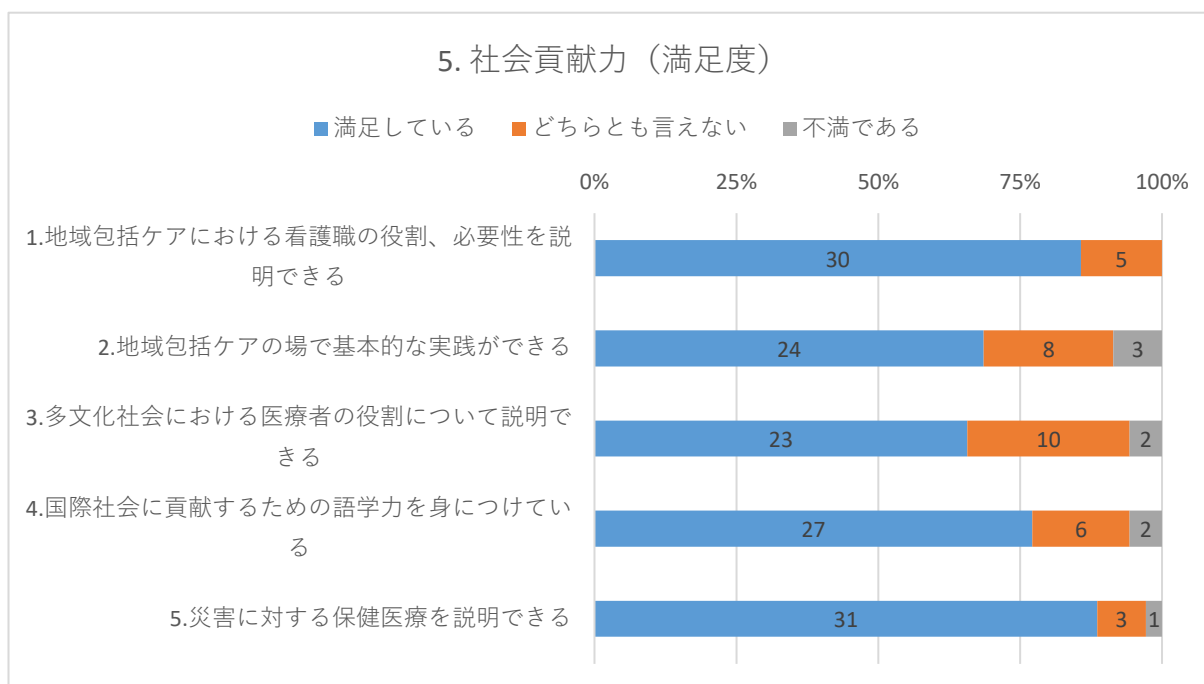
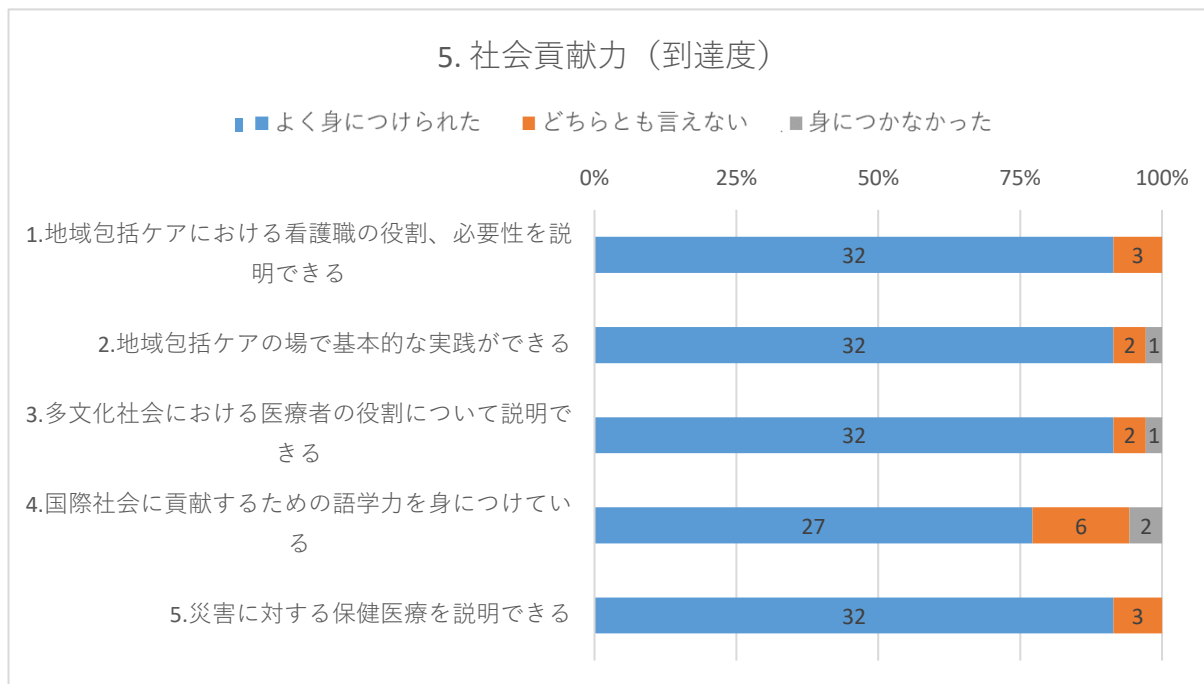


図5-1 社会貢献力（到達度）の3か年比較

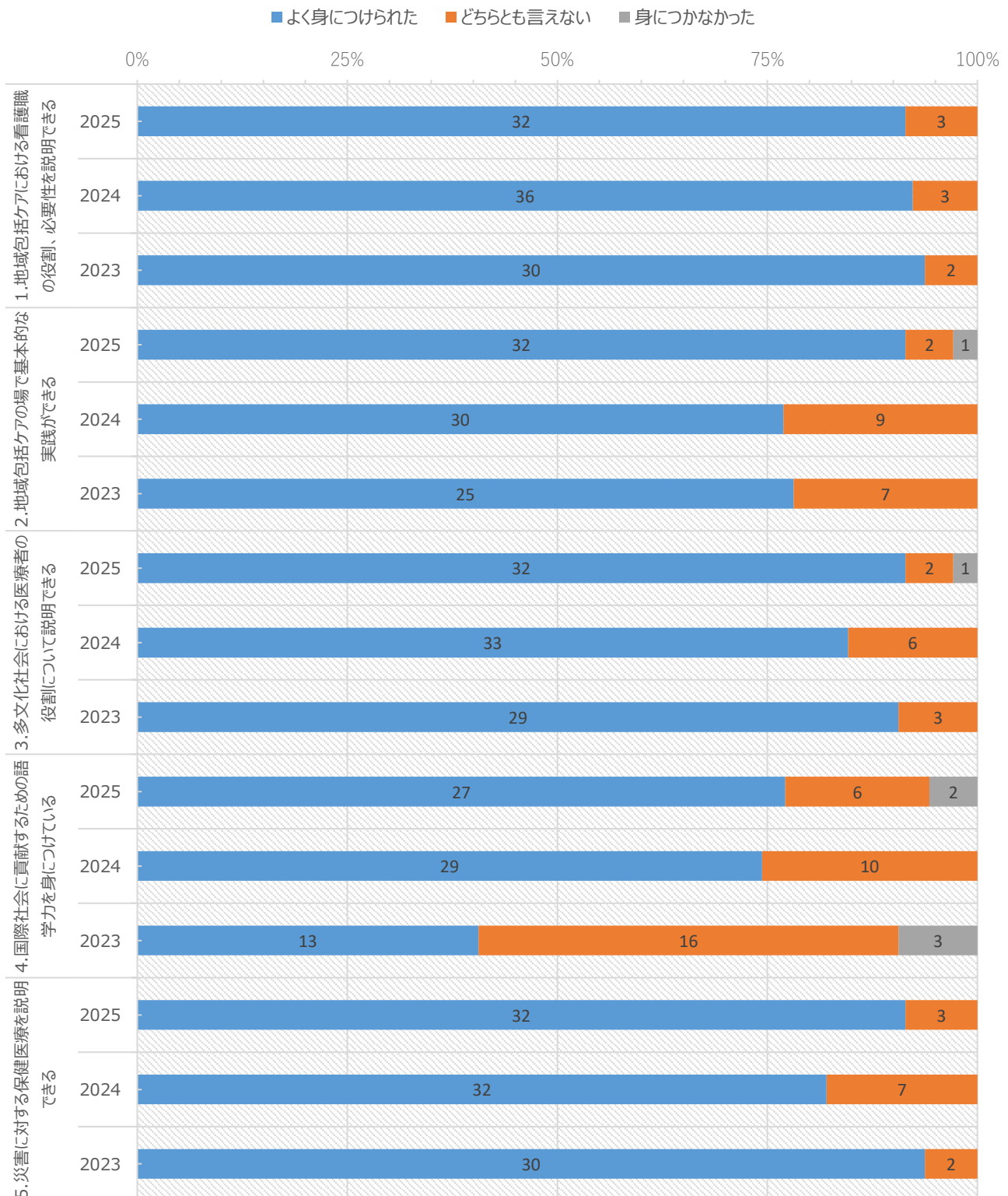


図5-2 社会貢献力（満足度）の3か年比較

